

# すいさん 山形

No. **332**  
平成29年 / 1 月号  
山形県漁業協同組合  
広報誌

漁民と手をつなぐ広報誌



サワラと真鯛のお刺身



鱈ちり  
Pacific Cod Fish  
Hot Pot



ハタハタ炊き込みご飯  
Sand Fish Clay Pot Rice



鯖寿司  
Spanish Mackerel  
Sushi



甘海老寿司  
Sweet Shrimp  
Sushi



## ～海を越えて～

### シンガポールのアンテナショップで山形セミナー開催!

12月10日全漁連がシンガポールで展開しているアンテナショップ「JF KANDA WADATSUMI」において山形セミナーを開催し、現地の一般の方々40名が参加しました。冒頭の挨拶では組合長が「冬の日本海は荒れる日が多く、厳しい環境の中で我々は漁業を営んでいますが、魚が最もおいしい季節でもあります」と山形県庄内浜の魚をアピールしました。販売企画課ではまさしく時化が続く中、食材の仕入れに追われましたが旬を迎えた魚種を確保でき、ほっとしました。

紹介した食材は紅えび・はたはた・マダラ・真鯛・庄内おぼこサワラ。試食した参加者からは生臭みがない・旨味が強い・absolutely beautiful!と大盛況で、中でもお寿司は大人気。シンガポールの人は堅い食べ物をあまり好まないため、熟成魚が功を奏しました。

今は漁獲後二日でシンガポールに魚が届く時代。新たなビジネスチャンスにつながることを期待します。





## 新年のご挨拶

山形県漁業協同組合

代表理事組合長

五十嵐 安哉

新年明けましておめでとうございます。

平成二十九年の年頭にあたり、謹んで組合員の皆様、役職員の皆様のご健勝を心からお喜び申し上げます。

本年が皆様方にとって、幸多い年となりますことを心からお祈り申し上げますとともに、常日頃からの当組合及び水産関係団体の事業推進に格別のご支援・ご協力を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。

平成二十八年を振り返りますと、熊本地震や大型台風の襲来により多くの自然災害が発生した一年でありました。

幸いにして本県への直接の影響は回避されたところではありますが、被災県域におかれては衷心よりお見舞い申し上げます。

こうした災害が、今後いつどこで起こるとも予測できない状況にあることと、地球温暖化による異常気象が漁場の急激な変化となって水産資源の生態系に悪影響を及ぼしているのではないかと危惧されるところであります。

こうした中で、昨年の本県漁業は底曳網漁業を始めとする沿岸漁業が総じて不振となる一方で、沖合漁業の中型いか釣漁業が魚価の高騰も相まって好調に推移したこと、さらには十二月に入ってから本県沖合にスルメイカ漁場が形成され、夏場の最盛期を彷彿させるほどの県外生イカ船が集結し水揚げが続いたことにより、十二月末日現在で前年同期対比六億二千万円の増で推移しています。

今年度も残すところ三ヶ月足らずとなりましたが、あと残り一年となった中期経営改善計画が確実に達成されることを期待するものであります。

また、昨年九月には、天皇・皇后両陛下のご臨席のもと「第三十六回全国豊かな海づくり大会」が酒田市や鼠ヶ関などを会場に開催されました。

本県の活力ある漁業の姿が全国に発信され、大きな評価を受けたことは、ひとえに組合員・役員ならびに関係者の皆様の結束力の賜物であり、あらためて感謝申し上げます。

この大会を継承し、本県漁業がさらに発展できるように、今後とも一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さて、世界的な人口の増加や新興国の所得水準の向上により、水産物の需要が世界的に増加傾向にある中で、国民に安定した水産物を供給するためには、我が国水産業が健全な状態で持続できることが最も重要であります。

しかしながら、水産業を取り巻く情勢は、水産資源の減少や漁業就業者の減少と高齢化、燃油や漁業資材高騰による漁業経費の増大により厳しい漁業経営を強いられております。

こうした中で当組合は、「水産日本の復活」に向け国が打ち出した施策を最大限活用するため「浜の活力再生広域プラン」を策定し、その実践により漁業・漁村の活性化に取り組んでいるところであります。

県・沿岸市町の支援により、昨年三月にオープンした山形市での直営店「庄内・海丸」における鮮魚や加工品・惣菜類の対面販売は、費用面での課題はあるものの、当初計画の倍以上の売上実績で推移しており、山形市民から大きな評価をいただいているとともに、庄内浜水産物の消費拡大につながっています。

さらには、水産業競争力強化のために国が打ち出した施策の目玉である「漁船リース事業」については、当組合が「リース事業体」となり、漁業者が安心して事業に乗ることができるよう万全の体制を構築するとともに、「生産性の向上等に資する漁業用機器等の導入事業」についても、漁業者に対する確かな情報提供に努めながら、漁業構造改革を推進しているところであります。

今後とも行政および系統との連携を強化し、漁業者の所得の向上、そして漁協経営の安定のため積極的な事業展開を図ってまいります。ところで、今年の干支にあたる「酉」は、充実し切った状態を意味し、さらには「変革」の年とも言われているそうです。

まさに今年こそ当組合が充実した状態になり、次の目標に向かって新たな一歩を踏み出す年にならんことを祈念するものであります。

そして、次期中期経営改善計画の策定に取り掛かるとともに、いつどのような苦境に立たされても対応できる足腰の強い組織となるよう運営してまいります。所存であり、なお一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、この一年が皆様にとって豊漁の年となりますよう、また、組合員、役職員の皆様方並びにご家族の皆様にとりまして幸多き年でありますようにご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



伊原 光臣

全国広域  
漁船保険組合理事  
山形県支所運営委員長

平成二十九年の新年を迎え、皆様  
に謹んでご挨拶を申し上げます。  
平素は当組合業務に格別のご支  
援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上  
げます。

さて、日本経済は緩やかな回復基  
調が続いているものの、漁業を取り  
巻く環境は依然として厳しく、これ  
をうけ漁船保険事業も漁船隻数の減  
少や付保漁船の高船齢化など、厳し  
い状況におかれています。

このような中、漁船保険業界では、  
平成二十九年四月に全国四五の漁船  
保険組合と漁船保険中央会を統合一  
元化し、「日本漁船保険組合」を新  
名称とした、新たな漁船保険組合を  
設立することとなりました。財務基  
盤の充実・強化を図り組合員への還  
元策を拡大するとともに、現行制度  
をより強固なものとし、皆様に安心  
をもたらす保険制度を築けるように、  
役員一同、業務を遂行していく所  
存です。

最後になりますが、本年が皆様に  
とりまして、明るく実り多き年にな  
りますよう祈念いたしまして、新年  
のご挨拶とさせていただきます。



五十嵐 安哉

全国合同  
漁業共済組合理事  
山形県事務所運営委員長

新春にあたり、皆様の本年のご多  
幸を心よりご祈念申し上げます。  
昨年を振り返りますと、4月の熊  
本地震をはじめとして日本各地で大  
きな災害が発生しました。北海道・

東北地方に大きな被害をもたらした  
台風は、東日本大震災から復興いま  
だ道半ばの被災地をも直撃し、改め  
て自然災害の恐ろしさを思い知らさ  
れる年となりました。

「ぎよさい」と「漁業収入安定対  
策事業（積立ぷらす）」は漁業経営  
の安定を図るための国の水産施策の  
重要な柱として位置付けられており  
漁業共済団体は、「ぎよさい」と「積  
立ぷらす」の普遍的な加入と定着を  
目指して、本年4月より、より多く  
の漁業者にご利用いただけるよう制  
度改正が行われます。今回の新しい  
制度を活用しての加入推進を図るた  
め、新しい普及推進全国運動の実施  
を予定しております。

「ぎよさい」と「積立ぷらす」が  
災害対策・経営安定対策の役割を十  
分に発揮し、漁業経営の大きな支え  
として全ての漁業者に活用してい  
ただけるよう心を新たにしてい取り組  
んで参りますので、本年も皆様の変わ  
らぬご支援ご協力を賜りますようお願い  
申し上げます。



五十嵐 安哉

JF共水連  
東北事業本部山形支店  
山形県JF共済推進本部  
本部長

新年おめでとうございませす。  
新しい年を迎え、組合員の皆様、  
役職員の皆様のご健勝を心よりお慶  
び申し上げます。

さて、本県推進本部は、平成26年  
度より「浜の未来へ大きな架け橋  
JF共済新3か年計画」を掲げ、チ  
ョーキャンペーンを実施し、この3  
か年計画の最終年度として、組合員  
の生活の安定を目指し、主要課題で  
ある共済事業量の必達に向け、全力  
で取り組んでいるところであります。  
こうした中、主力商品である生命  
共済「チョコー」は昨年7月より、  
これまでお引受出来なかつた病気や  
現在治療中の病気でも共済加入が可  
能になるよう緩和されました。さら  
に、すでに発売している先進医療保  
障などを加えた「新医療共済『匠』」  
を勧めることにより好評を得ており  
ます。一方、建物総合共済「くらし」  
は昨年度同時期に比べ、若干伸び悩  
んでいるところであります。

しかしながら、生命共済「チョコ  
ー」の加入実績は、いまだ十分とは  
言えない水準にあり、年度末に向け  
た強力な推進活動により、最重要課  
題である目標達成に最大限の努力を  
図って参りたいと考えております。  
最後になりますが、平成29年が皆  
様方にとって、新しい幕開けになり  
ますとともに、なお一層のご健勝と  
ご活躍を心よりご祈念申し上げます。  
新年のご挨拶とさせていただきます。



飛塚 弘

山形県  
漁業信用基金協会  
理事長

新年明けましておめでとうござい  
ます。

本協会の業務につきまして、日ご  
ろから格別の御支援、御協力をいた  
だき、厚くお礼申し上げます。

昨年は、「第36回全国豊かな海づ  
くり大会」や「まがたり」が開催され、  
山形県の漁業の取組みが全国に向け  
発信されました。大会運営に携われ  
た関係者の皆様のご労苦に対し、改  
めて敬意を表する次第です。

本協会は、漁業者の皆様が融資を  
受ける際の債務保証を行うことによ  
り、円滑な資金調達を支援しており  
ます。近年は、設備投資を行う漁業  
者の方々が増え、その割合も年々高  
くなる傾向にあります。本協会とし  
ましても、競争力強化に向け、漁船  
リース事業の保証を積極的に進める  
など金融の円滑化に取組んでいると  
ころであります。

また、全国的な動きとしまして、  
広域合併に向けた協議が進められて  
おります。本協会としまして、そ  
の状況を見据えながら、引き続き財  
務基盤の強化に取り組み、漁業経営  
に必要な資金の円滑な借り入れに貢  
献してまいりますので、御利用くだ  
さいますようお願い申し上げます。  
この一年の大漁と漁業関係者の皆  
様の御健勝を祈念いたしまして、新  
年の挨拶とさせていただきます。

# 年男さん・年女さん 大いに語る!

- プロフィール
- ①自分にとって過去1年間良い事ベスト1
  - ②酉年にかける夢
  - ③漁協に期待すること(水産業全体でも良い)

**本間 和憲**  
 温海出張所 昭和44年生まれ



高校卒業後、実家の食品卸業を手伝った後、漁師になりたくて念珠関の底曳船「三和丸」に乗船。その後、着火船を取得し独立、延縄業を営む。

- ①明けましておめでとうございます。昨年は新造船を建造できて、とても良い年となりました。県・市・漁協から多大なるご支援を受け、とても感謝しております。
- ②昨年はタイ、マグロ等の漁が芳しくなく、サワラで少し息をついたという厳しい一年だったので、今年は豊漁を期待したい。また「庄内おぼこサワラ」が県内でももっと多くの人に知られて、その美味しさを楽しんで欲しい。さらにこの「サワラ」のノウハウを他の魚にも活用し魚価向上を目指したい。
- ③着火船が今後も生き残るために、魚価の高い市場への活魚・活メ魚出荷のための水槽等の設備投資や、盛漁期に長く操業できるような運搬体制の工夫をしていただきたい。

**池田 章**  
 さかた総合市場 昭和44年生まれ



親がイカ釣り船を操業していたこともあり、18歳から10年間イカ釣り船に乗船。その後29歳からカキ漁を行っており、現在は酒田すもぐり漁業者会会長をしています。

- ①明けましておめでとうございます。昨年のカキ漁は近隣の海でタンカー船の座礁事故があり、操業が危ぶまれましたが、検査結果も良好で何事もなく無事に操業することが出来て本当に良かったです。
- ②酉年だからということではありませんが、やはり無事に仕事ができることが一番だと考えています。漁業者や漁協、この仕事の関係者全員の無事をお祈りしています。
- ③私を含め、これからの潜水漁業は資源などが少なくなり、厳しい時期に突入すると予想されます。漁協と漁業者がより一層、力を貸し合ってこのような事態を皆で乗り越えられるよう、ご協力をお願いします。


**阿部 学**  
 念珠関総括支所 昭和56年生まれ



高校卒業後に地元就職し、一年間社会勉強した後、念珠関支所でアルバイトし、それがきっかけで平成十四年に清徳丸に乗船。

- ①新年明けましておめでとうございます。昨年は大きな怪我や病気もなく過ごせたことがなにより一番だったと思います。もう一つは漁師を続けてきたことで、全国豊かな海づくり大会で天皇皇后両陛下の前で手を振れたことです。一生に一度あるかないかの貴重な体験でしたので、とても印象に残りました。
- ②夢はたくさんありますが、仕事や趣味のスポーツをする上で自分の身体が一番大事だと思うので、体調管理をしっかりすることが夢という目標です。
- ③漁協には日頃から大変お世話になっていますので、これからもよろしくお願いたします。

**佐藤 隼人**  
 由良総括支所 昭和56年生まれ



平成13年4月に家業である第八長宝丸(14.94トン)に乗船し、父と共に底曳網漁業に従事している。

- ①新年明けましておめでとうございます。家族皆が健康で一年無事に操業できた事。豊かな海づくり大会に選出していただき、両陛下と懇談、決意表明ができた事。海づくり大会皆様お疲れ様でした。
- ②安全操業、健康第一、大漁満足!どの浜にも活気と笑顔があふれる一年に。
- ③漁協職員数減少の中、休みも少なく、早朝から夜遅くまで大変御苦労様です。漁業をとりまく環境は厳しいですが、漁業者目線に立った積極的な運営と、庄内浜のんめものを引き続きアピールしていただきたいです。

# 特集

# 西年



## 石垣 幸紀

吹浦支所 昭和20年生まれ



学校卒業後、千葉県に就職。その後地元に戻ってきてTDKに8年間勤務し、結婚を機に主婦業に専念。現在は漁協女性部吹浦支部の副部長、また「ふらっと元気な浜店」で副店長として昼食もそこそこで日々奮闘しています。

- ①明けておめでとうございます。夫と二人暮らしですが大きな病気や怪我もなく過ごせたこと、ひ孫誕生で喜んでいます。
- ②数年前から考えていましたが、客船「飛鳥」に乗って夫婦でゆったり旅行ができればと思っています。
- ③漁業者もそうですが、女性部員も高齢化の波に打ちつけられている状況です。今出来ることから立ち止まらず、一歩々前進あるのみと思います。「小さなことからコツコツと」

## 佐藤 敦

加茂出張所 昭和32年生まれ



加茂水産高等学校卒業後、昭和51年(19歳)に大型遠洋トロールに乗船。平成3年(34歳)の時に200海里問題で船を降りた。その後は家族を養うために地元の企業に勤めながら、自船である辨天丸と磯見船を持ち、兼業漁師として現在に至る。

- ①明けておめでとうございます。良いことは様々ありましたが、昨年6月に4人目の孫(女の子)が誕生したことが、なんとと言っても良いことベスト1でしょう。
- ②自身の定年までもう一年となりました。本年も家族の健康はもちろん自分自身も健康と航海安全に心がけ、日々精進していきたいと思います。
- ③山形県の水産業は年々魚価の低迷、漁獲量の減少などお互いに苦労していることかなと思います。今後、鮮度保持徹底を心がけて鮮度を保持して水揚げしますので、魚価の向上と安定に努めていただきたい。これからも互いに協力して山形の漁業を元気立てていきましょう。

## 齋藤 茂

飛島支所 昭和32年生まれ



中学を卒業後、近海船に乗るまでは飛島で父親と一緒にメバル刺網網をする。その後、東シナ海方面でフグ縄、ニュージーランド方面でいか釣漁業に従事した。現在は小樽の第五十八宝生丸でいか釣をしており、漁撈長として20年以上になる。山形県船友漁撈長会(13隻所属)の船団長と昨年まで4年間務める。

- ①漁業者の皆様、地元の皆様、明けておめでとうございませう。旧年中、無事故で操業できたこと、乗組員と家族みんなが健康で何事もなく過ごせたことが一番良かったと思います。
- ②家族と離れ長く船に乗っていますが、常に心掛けていることは無事故で操業すること。それは留守を託せる家族がいるから(感謝しています)。国策でもどうにもならない漁業者の高齢化、減少など、これに負けない様に漁獲の向上を目指し、安全操業に努めたいと思います。
- ③天候不良、地球環境の変化、魚価・燃油の変動等、私達の暮らしは良い年あれば悪い年もあります。漁協も私達もそれに惑わされず、しっかりと心構えで共に安定した経営になるよう頑張らましょう。

## 石塚 修

豊浦支所 昭和44年生まれ



加茂の第八新山丸(田澤常美さん)に六年間お世話になり底曳の「い・ろ・は」を教えて頂きました。平成11年に第一輝修丸(9.9トン)で独立し、平成21年に第二十一輝修丸(14トン)となり、荒波にもまれながら十八年になりました。

- ①昨年はベスト1と言えるほどの事がなかったので、今年は仕事の面でも生活の面でも、良い事があふれる年にしたいです。
- ②早いもので4回目の年男!! 蹴っ飛ばせば50才! 安全操業と大漁はもとより、健康に留意しこの一年を過ごしたいです。
- ③漁師と漁協は「一蓮托生」。共にがんばって生きましょう。

## 平成29年度 水産業振興に 関する要望書を提出

11月22日、三川町『なの花ホール』で開催された「知事と漁業者との意見交換会」の席上、吉村知事と白田農林水産部長に対し水産業振興に関する要望書を提出しました。水産業を取り巻く環境は非常に厳しい状況となっており、漁業就業者の減少と高齢化等により本県漁業は深刻な状況に直面しています。こうした中で本県漁業者は「浜の活力再生広域プラン」等の実践により自己変革と漁業所得の向上に取り組んでいますが、その経営基盤は総じて脆弱であり多方面からの支援が求められているところです。このため、持続できる水産業の構築と漁業・漁村の活性化のため支援を要請したものです。



### 要望事項の骨子

- |                               |                                 |
|-------------------------------|---------------------------------|
| 1. 浜の活力再生広域プランの実践に係る支援・指導について | 5. 今後の漁業経営に意欲的な漁業者の代船建造への支援について |
| 2. 産地市場の機能充実について              | 6. 漁業用無線施設の充実について               |
| 3. 「豊かな海づくり」の推進について           | 7. 港湾・漁港施設の整備充実について             |
| 4. 漁業の担い手の育成・確保に対する支援の継続について  | 8. 酒田港本港第一船溜り岸壁の整備について          |
|                               | 9. 燃油税制に係る特例措置について              |

なお、齋藤稔庄内総合支庁長（11月28日）・榎本政規鶴岡市長（11月14日）・丸山至酒田市長（11月15日）・時田博機遊佐町長（11月24日）に対しても、別途要望書を提出しております。

また、12月22日に県庁において山形県漁業振興補助金（漁獲共済事業に係る掛金補助制度）復活に関する県知事あての要望書を農林水産部工藤郁也技術戦略監（兼）次長に対し提出しました。



庄内総合支庁長



鶴岡市長



酒田市長



遊佐町長



工藤技術戦略監

## 知事と漁業関係者との 意見交換会開催



去る11月22日(火)、三川町『なの花ホール』において、漁業者と吉村山形県知事との意見交換会が開催されました。

この会議は知事自らの発案により開催され、山形県水産行政が沿岸、沖合漁業に対する強い関心と改革意識を持っている表れである事をうかがわせる活発な意見交換の場となりました。

この意見交換会には県をはじめ県内漁業を代表される方々と山形県漁協女性部長など20名が出席し、漁業者側から要望された内容に対する回答が県側から示されました。

中でも、「浜の活力再生広域プラン」の実践に係る支援・指導要望や、北朝鮮によるミサイル発射に対する連絡方法の確保（無線設備の充実）、非漁業者とのトラブルに対する協議の依頼、山形県水難救済会への活動助成金の復活など、漁業者が直面している諸問題や意見が出されました。

吉村知事からは、これまでの水産行政の取組みに対する考察と今後の方策が述べられ、次年度以降の予算確保も含む水産業復活に向けた強い姿勢を感じました。

● 充実補償のぎよさいとぷらす

# 理事会情報

平成28年度 第7回 理事会議案  
開催日…平成28年12月6日(火)  
場所…由良温泉 ホテル八乙女

## 【協議事項】

- 1 全漁連期中監査の改善指示書について
- 2 平成28年度上半期監事監査の結果について
- 3 理事者の利益相反行為に該当する貸付金の審議について
- 4 さくらます刺網漁業の承認について
- 5 年末年始の取扱いについて

## 【報告事項】

- 1 平成28年10月末現在収支状況について
- 2 平成28年度年間収支見込みについて(9月末実績基準)
- 3 平成28年度山形県水産業賞、2016年度(第31回)漁協運動功労者表彰及び酒田市市民表彰の受賞について
- 4 山形県知事と漁業者との意見交換会について
- 5 JFマリンバンク広域化研究会の進捗状況について
- 6 貸付金利率の改定について
- 7 石油製品の供給価格の改定について
- 8 平成28年度JFマリンバンクモニタリングの結果について
- 9 組合員の加入・脱退について
- 10 その他

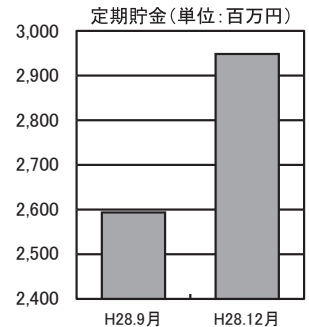
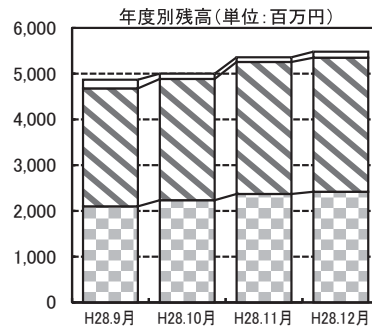
## 全国統一キャンペーン漁協みな貯金運動

# ご協力ありがとうございました!!



当組合では、「全国統一キャンペーン漁協みな貯金運動」を平成28年10月より3ヶ月間に渡って展開してまいりました。期間中はお客様をはじめ、総代、組合員、漁協女性部ならびに関係団体の皆様からは格別なご協力を賜わり、誠にありがとうございました。

定期貯金を中心に推進し、平成28年9月末より354百万円増加で終了いたしました。



今後、年度末にも年度末貯金推進運動を展開してまいりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

# 灯油宅配

推進運動展開中

# 灯油の粗品プレゼント 配達には漁協におまかせ

お近くの支所・出張所にお気軽にお電話下さい。

吹浦支所 ☎ 0234-77-2501  
 飛島支所 ☎ 0234-95-2014  
 さかた総合市場 ☎ 0234-24-5617

加茂出張所 ☎ 0235-33-3328  
 由良総括支所 ☎ 0235-73-3011  
 豊浦支所 ☎ 0235-73-3006

温海出張所 ☎ 0235-43-3434  
 念珠閣総括支所 ☎ 0235-44-2100

JF 山形県漁業協同組合

● ぎよさいでしっかり、ぷらすで安心

## 浜のお母さんたちなどによる グループ加工を学ぶ研修会を 開催しました!

「浜のお母さんたちなどによるグループ加工を学ぶ研修会」が11月22日由良コミュニティセンターで開催され、女性部を中心に約40名の方々が参加しました。講師には少人数で加工品作りに取り組み、売上げを伸ばしている石川県の女性グループ「輪島・海美味(うみ)工房」代表の新木順子さんをお招きしました。新木さんから加工を始めた動機やグループ加工に取り組む際の‘コツ’などを聞いた後、工房で実際に作っている商品を試食しながら活発な意見交換がなされました。参加者からは「大変参考になった」「少人数でもやれそう」など前向きな感想があり、今後、浜のお母さんたちによる水産加工品作りの推進につながることを期待しています。



新年明けましておめでとうございます。本年も海と渚の環境美化へのご支援、ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

さて、前回に引き続き、昨年清掃活動にご協力いただいた3つの団体を紹介します。

7月31日、酒田小型船舶安全協会76名の皆様が、第1・第2酒田PBS各係船施設及びその周辺の清掃を行い、暑い中2トントラック1台分程のゴミを集めていただきました。

8月28日、山形県漁協女性部のほか農林中央金庫山形支店や行政関係者も加え、計41名の皆様が、庄内総合支庁と鶴岡市の共催による「クリーンアップin鼠ヶ関」に参加しました。全国豊かな海づくり大会の放流行事会場である鼠ヶ関港で、清掃と併せ、マナー向上の啓発活動にも取り組んでいただきました。

9月10日、今回初めて申し込まれた陽だまりの会13名の皆様が、吹浦西浜海岸の清掃を行いました。きれいな海を守ろうとする団体がこのように増えていくことについて大変心強く感じております。ご協力いただいた皆様、お疲れ様でした。

毎年活動されている団体や新たに始めようとしてされているグループなどたくさんの申込みをいただいておりますが、予算の都合もありますので、お手数ですが、活動内容や助成申請額等について、事前に事務局までご連絡くださるようお願いいたします。

未来につなげよう  
青い海と  
美しい渚

お問い合わせ先  
庄内総合支庁 水産振興課内  
山形県海と渚環境美化推進協会  
事務局 担当：今野  
☎0234-24-6161



# JF共済★チョコレートキャンペーン展開中!!!

## 第2次キャンペーン：2月28日まで



### チョコ●新医療共済 で

## もうひとランク上の保障を目指しませんか？

### ①手術保障の拡充

「公的医療機関等の対象となる手術・放射線治療」を幅広く保障します。

ポイント1 共済金の支払対象となる手術（件数）は現行の約2倍に拡大。

ポイント2 身体への負担の大きい開頭術・開胸術については40倍とし充実した保障を提供。

注）公的医療保険の対象手術であっても、「創傷処理」や「抜歯手術」など、一部手術共済金の支払われない手術もあります。

### ②「先進医療特約」の新設

小さな負担で大きな保障を受けることができ、安心して治療に専念できます。

ポイント 「治療」だけでなく、「検査」や「診断」についても対象となります。

○公的医療保険等の対象外で高額な費用のかかる先進医療をうけたときに、技術料に相当する額をお支払い。

先進医療共済金 = 技術料に相当する額（技術料が1万円未満の場合は1万円とします。）

注）この制度は、平成25年10月1日以前に締結した共済契約には適用しません。

上記は保障の概要を説明したものです。ご契約の際は、重要な事項が記載されている「契約概要」「注意喚起情報」および「ご契約のしおり・共済約款」を必ずお読み下さい。詳しくは山形県漁業協同組合もしくは共水連東北事業本部山形支店までお問い合わせください。

### NS-ウクンダ A90



### YWA-2015 水感知膨張式 ライフジャケット ウエストベルトタイプ

通常時



膨張時



## JFライフジャケットF

## ライフジャケット購入者に 助成いたします!

（購買扱い、正准組合員のみ）

山形県漁船海難 防止協議会より  
（年齢制限なし）

山形県漁業 協同組合より  
（65歳以上）

# 30%

助成

# 20%

助成

※ただし、予算の都合もありますので、あらかじめ支所へお問い合わせ下さい。

## ライフジャケット着用者の 生存率は約80%です

● 浜の味方！ ぎょさいとぷらす

## 漁業試験調査船「最上丸」の新船整備について

水産試験場の「最上丸」は竣工から25年が経過し観測や調査の機能が大きく低下しており、また、いかつりと底びき網の漁具交換に日数がかかるなど調査効率の面では課題があるところです。そこで、県では、将来の庄内浜の漁業を見通して、漁業者の要望に的確に応えられる新しい漁業試験調査船の整備を進めています。

### 新船整備検討の状況

#### 平成27年度

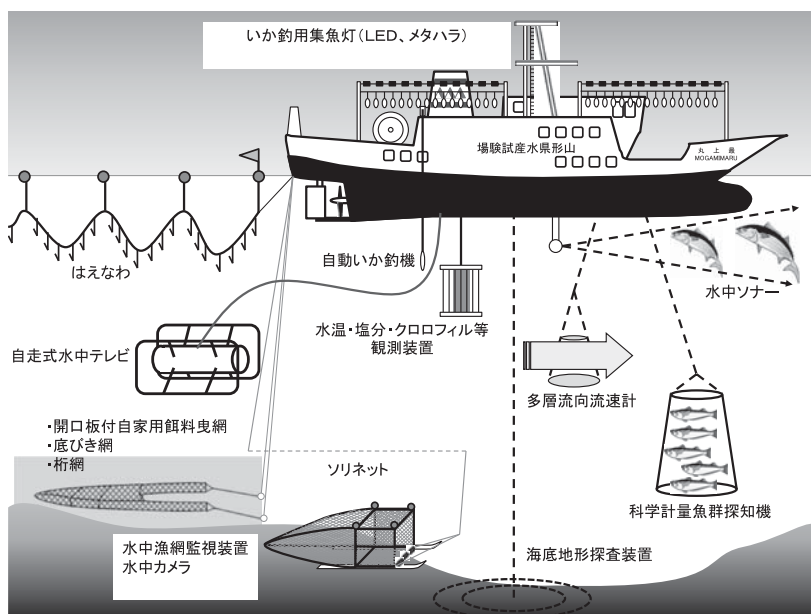
- 新船整備についての意見交換会や漁業団体の総会などにおいて、現在の最上丸に対する課題の整理を踏まえて新船の設備や機能に対する漁業者の要望や意見を頂きました。
- 最上丸代船建造検討チーム会議（構成員：漁業者、県漁協、造船所、市町、加茂水産高等学校、県関係）を10月に開催しました。
- 秋田県、新潟県、日本海区水産研究所の調査船を現地調査しました。
- 全国の水産試験場の調査船について、アンケート調査を行ないました。

#### 平成28年度

- 4月に第2回最上丸代船建造検討チーム会議を開き、建造計画大要について議論しました。
- 5月と7月に、最上丸代船建造検討委員会を開催しました。委員として、検討チーム会議メンバーに漁船工学や水産資源・海洋環境調査の専門家が加わり、論点を絞って具体的な検討を行ない、9月に「最上丸新船建造調査報告書」を取りまとめました。（内容は、山形県水産試験場ホームページ<http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/>で公表）
- 宮城県、兵庫県の調査船を現地調査しました。このほか、年度内に青森県の調査船を現地調査する予定です。

### 調査船の構想

- 1 本県の主力漁業である底びき網、いかつりをはじめとする沿岸漁業に迅速に対応する機能（漁場や漁海況についてのスムーズな情報提供など）
- 2 LED集魚灯など漁業経費を削減する技術の開発
- 3 船上における活け締めなど、魚価アップにつながる鮮度保持・向上技術の開発
- 4 大型クラゲ、ワニザメ、サルバ、泥の堆積等、海洋環境の変化により増えている漁業障害への効果的な対応
- 5 海底や水中の漁具の状態の画像による把握などを行なうため、右図のイメージの新船を計画しています。



### 今後のスケジュール

- 新船の基本的な仕様と装備についての設計委託を、平成28年12月から平成29年11月までの期間で実施しています。
- 基本設計を基に平成30年4月から新船建造に着手し、平成31年度の完成・運用を計画しています。

漁業者の皆様の要望や意見を十分取り入れながら、本県水産業の振興に貢献し、漁業者に喜んでいただける調査船の整備を進めていきたいと思っておりますので、今後とも御協力のほどよろしくお願いいたします。

水産試験場 平野 央

● ぎょさいとぷらすで安心操業

# 水揚情報

平成28年12月31日現在

(単位：千円)

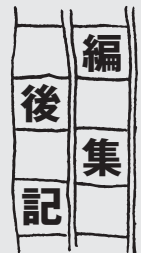
支所別 区分	水揚合計	水揚地内訳								
		吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	
11月末迄水揚累計	2,252,216	89,291	81,615	1,071,770	119,794	244,509	173,536	59,778	411,923	
月間水揚	県内船水揚	316,733	11,162	9,069	183,082	7,833	32,623	12,339	3,749	56,876
	県外船水揚	506,145	0	0	506,145	0	0	0	0	0
	合計	<b>822,878</b>	<b>11,162</b>	<b>9,069</b>	<b>689,227</b>	<b>7,833</b>	<b>32,623</b>	<b>12,339</b>	<b>3,749</b>	<b>56,876</b>
前年同月水揚	317,610	15,704	9,349	134,458	9,016	40,792	23,918	9,047	75,326	
本年度水揚	県内船水揚	2,217,502	100,453	90,684	910,452	127,627	275,347	185,875	63,527	463,537
	県外船水揚	857,592	0	0	850,545	0	1,785	0	0	5,262
	合計	<b>3,075,094</b>	<b>100,453</b>	<b>90,684</b>	<b>1,760,997</b>	<b>127,627</b>	<b>277,132</b>	<b>185,875</b>	<b>63,527</b>	<b>468,799</b>
前年度水揚累計	2,463,389	106,082	108,827	991,597	147,841	332,934	228,800	73,540	473,768	
増減	611,705	-5,629	-18,143	769,400	-20,214	-55,802	-42,925	-10,013	-4,969	
本年度水揚計画	2,540,000	120,000	115,000	993,000	132,000	318,000	198,000	74,000	590,000	
達成率	121.0%	83.7%	78.8%	177.3%	96.6%	87.1%	93.8%	85.8%	79.4%	

## 今あがっている魚 - 12月のベストテン - 前年対比 増↗減↘変らず→

水揚金額(千円)				漁獲量(kg)					
1	するめいか	656,958		↗	1	するめいか	920,007		↗
2	はたはた	25,433		↗	2	はたはた	59,853		↘
3	ずわいがに	16,775		↘	3	ぶり・いなだ	37,628		↘
4	たら	16,303		↘	4	たら	35,833		↘
5	さけ	14,321		↗	5	べにずわい	22,680		↘
6	たい	14,299		↘	6	さけ	21,337		↘
7	あわび	11,627		↘	7	たい	19,951		↘
8	ぶり・いなだ	10,859		↘	8	めばる類	10,937		↗
9	ほっこくあかえび	8,948		↗	9	ほっこくあかえび	8,030		↗
10	やりいか	4,145		↘	10	やりいか	4,736		↘

月間MVP

月間MVP



◎あけましておめでとございます。

◎2016年、国内行事の一つとなった世相を1字で表す漢字が金に決まった。今回で3回目の選出となったが選考理由については、リオ五輪での「金」メダルラッシュ、政治資金や豊洲新市場移転、東京五輪経費などの「金」(カネ)に関する問題、日本銀行によるマイナス「金」利などが理由とか。筆者の思いつきは東京五輪に思いを託しての「金」が多かったような…

◎一方、県内行事の大きな話題としては「第36回全国豊かな海づくり大会」式典が天皇皇后両陛下ご臨席のもと、森から川へ海へとつなぐ命のリレーを基本理念に実施。特色ある水産業や魅力、自然環境保全活動等の取り組みを全国に発信でき、県民にも広く認知されたことで成功裏に終了することができた。

◎迎えた2017年、酉年、草木の熟した実を壺に入れて保存する状態。元来西は「酒」の偏のない形で、「絞る」という意味もある。これが鶏と結びついたのは、「生活のため鶏の首をしめる」ことからの発想という説がある。また鶏料理で一杯飲むということも関連しているとか。いずれにしろ「実り多い年」の象徴であり、大漁満足を願う。

事業部長(兼)さかた総合市場長 佐藤 研

● 未来のためのぎょさいとぷらす



# 今年はいつもと違う??

師走を迎えて県外小型イカ釣船団が続々と酒田に入港している。狙うは「するめいか!」

庄内浜の夏の風物詩として知られる「するめいか」の漁火が今、庄内浜沖に列を連ね好調な水揚げをしている。今年の夏は不漁に終わったするめいかは何故今頃? しかも漁場が本県沖合。近隣のするめいかの一大産地は釣れにくい状況で、今年は高値で取引されており、まさに「いかさま」と揶揄され、薄漁だった北海道での水揚げ不足を一気に挽回するビッグチャンスと言える。

昨年から冬の時期でも水揚げされており、釣れる匂いを醸し出していたのだが、今年は早くから纏った水揚げが出来た。

するめいかは国内で一番消費率の高い人気の魚種。イカそうめんに煮付、塩辛と料理のレパートリーも豊富。ぜひ、皆様もこの機会をお見逃しなく購入してはイカが?



## 第4回Fish-1グランプリ

漁師自慢の魚 プライドフィッシュ料理コンテスト

山形県漁業協同組合が「大日本水産会会長賞」を受賞!



よく晴れた、東京日比谷公園の朝10時。Fish-1グランプリは、11月20日(日)日比谷公会堂の隣に位置する「にれの木広場」で行われました。

私達が出品した料理は、「庄内浜の秋サケ味噌かす漬け丼」。なぜサケ?と思う方もいるでしょう。それは、水揚げが予測される秋に向けて「プライドフィッシュ秋魚種」に登録し、全国的に消費意欲を促す企画の一つとして考えていたからです。

ここに至るまで、夏頃からサケにまつわる歴史を探り、資料を集め、ストーリーを掘り起こし…と努力を重ねるも、大自然のチカラの前にはなすすべもなく、今期のサケは不漁。食材の確保に奔走することになりました。

そして迎えた当日。10時にはまばらだったお客様も、12時頃から15時にかけてピークを迎えました。コンテストの来場者数は5万人。庄内出身の方が気軽に声をかけてくださり、地元庄内を懐かしむ夫婦の姿に心を打たれた私達は、思わず大盛りサービス。ブースでは、現地の若手スタッフの協力もあり「大日本水産会会長賞」という輝かしい賞を頂くことが出来ました。



### ◎グランプリ

JF滋賀漁連 天然ピワマスの親子丼

### ●準グランプリ

JF愛媛漁連 宇和島鯛めし

### ●大日本水産会会長賞

JFやまがた  
庄内浜の「秋サケ味噌かす漬け丼」

### ●全国水産卸協会会長賞

JF高知漁連 金目鯛の炊き込みごはん

### ●全国漁業協同組合連合会会長賞

JF大阪漁連  
ワタリガニのトマトクリームパスタ

### ●審査委員特別賞

JF徳島漁連 「とくしまはも」の天麩羅